

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

| | | | | | |
|--------------|--|------|-----|-----|----------|
| 都道府県名 | 茨城県 | 市町村名 | 美浦村 | 大学名 | 美浦村教育委員会 |
| 派遣日時 | 令和7年7月2日(水曜日) 13:00~16:30 | | | | |
| 実施方法 | 派遣 / 遠隔 ※いずれかに○をつけてください。 | | | | |
| 派遣場所 | 美浦村立美浦小学校 | | | | |
| アドバイザー氏名 | 市川 昭彦 | | | | |
| 相談者(受講者) | 美浦村教育委員会 | | | | |
| 相談内容等 | <p>○支援体制上の課題</p> <p>美浦村では昨年度まで、外国人児童生徒が在籍した際には、美浦村国際交流協会の助力を得て、週1回1時間程度の日本語指導を行ってきた。令和2年度以前は、在籍児童生徒が若干名であったため対応可能であったが、近年の外国籍児童生徒在籍数の急速な増加により、従来体制での対応が困難となってきた。そこで、令和7年度より新設校である美浦小学校に日本語指導教室を設置し、日本語指導加配教員1名も配置した。しかし、日本語指導教室の環境整備や支援体制の構築については不十分な状況にある。</p> <p>○言語理解の不足による学習・生徒指導上の課題</p> <p>本村小中学校に在籍する外国籍児童生徒の大半は、日本語が全く分からない状態で転入学してくることが多い。そのため、学校生活においても、他の児童生徒とのコミュニケーション不足や学習活動への困難が多く見られている。また、指導する教師側においても、通訳アプリ等を活用して、支援の充実に努めているが、英語以外の言語を母国語とする児童生徒が多いため、対応に苦慮している。美浦小学校に配置した日本語指導加配教員は、日本語指導の経験がなく、研修についても不十分な状況である。</p> <p>そこで、今後持続可能な日本語指導の経営を行っていく上で、日本語教室の環境作りから指導計画、指導方法等の基本的な事項について具体的な指導を仰ぎたい。</p> | | | | |
| 派遣者からの指導助言内容 | <p>当日は授業参観、授業研究会、全体会(アドバイザーによる講話)という構成で実施し、それぞれにおいて指導助言をいただいた。</p> <p>○授業参観・授業研究会での指導助言</p> <p>【授業者の指導についての指導助言】</p> <ul style="list-style-type: none">・授業で実施していた“ひらがなの読み”にかけて、「あいうえお作文」で助言をいただいた。㊦きはきとしている。㊧ろい心で接している。㊨りかえりを大切にしている。㊩んじがわかりやすい。㊪め方が適切である。 <p>【指導案についての指導助言】</p> <ul style="list-style-type: none">・「本時の展開」について、流れを追いながら指導助言をいただいた。 <p>良い点：㊫始まりの挨拶を大切に扱っている。</p> <p>㊬普段の生活につながっている学習(日にち等の確認)が組み込まれている。</p> | | | | |

- ③複数人によるゲーム性のある活動が入っていてよい。
- ④振り返りが大切にされていてよい。振り返り時に活用されていた「表情カード（人物写真）」が効果的である。

改善点：①「何のためにその支援を行うのか」を明確にして指導案は作成するとよい。

- ②45分という授業時間に学習内容を詰め込みすぎることがあるため、事前に指導者同士で「減らす」工夫を行うとよい。

【教室環境についての指導助言】

- ・日本語指導教室の設置場所について

良い点：①児童が通いやすい場所にある。

※在籍学級からも行きやすい。

- ②職員室から近い。

改善点：数年間でも同じ場所に固定できるとよい。

※教室が固定できない実態から。

- ・教室の環境作りについて

良い点：教室の全面がすっきりとしていてよい。

※外国籍児童は、前面に色々なものが貼ってあると、今行っている課題に必要な情報と勘違いしてしまうことがある。情報を制限することも大切な環境作りである。

改善点：①児童それぞれに自分専用の教材BOXを準備しておくことよい。

※忘れ物を防ぐことや次時の授業へのスムーズな取組等につながる。

- ②文具をそろえる習慣を身に付けさせる工夫として、姿置き収納シートを準備しておくことよい。

- ③出入りにパーティション等を準備し、自国文化を紹介するような工夫をすると、外国籍児童の所属感につながる。

- ④教具として反対言葉カード等を準備しておくこと、学習効果が高まる。

- ⑤A4・B4サイズのホワイトボードを準備・活用していくと効率的学習が行える。※週2時間しかない日本語指導を効果的に使うための工夫として。

○全体会（アドバイザーによる講話）での指導助言

演題「JSLカリキュラムを生かした日本語指導や学習支援」

※演題に基づき、日本語指導の現状から、初期段階における指導方法等について指導助言をいただいた。

【外国人児童生徒を取り巻く現状と近未来について】

- ・日本語指導の目的は、目の前にいる子どもたちに「自立」できる力を身に付けさせることにある。

- ・日本の現状として、日本人労働力の減少があり、この先外国人労働者の更なる規制緩和が考えられることから、社会の変化に伴う学校の変化も必ず起こる。

- ・全国各地の高等学校で「特別の教育課程」がスタートしたことにより、義務教育においても、求められる日本語指導が変わってきている。

| | |
|--------------------|--|
| | <p>【日本語指導の環境整備と支援体制について】</p> <ul style="list-style-type: none">・外国籍児童生徒に必要な日本語の力は「学習に参加することができる日本語力である」。・JSL カリキュラムは第2の言語として日本語を扱うために開発されたカリキュラムのことである。・学習活動の各局面を構成する活動単位 (Activity Unit) ごとに、それぞれの活動を行うために必要な日本語表現のバリエーションを組み合わせた「AU カード」に、教師による子どもの実態に合わせた授業づくりを支援することができる。・JSL 5 支援とは、理解支援・表現支援・記憶支援・自立支援・情意支援の5つの支援に注目した具体的な支援方法であり、職員研修を通して視点を共有して取り組むことにより、日本語指導の充実につながる。 <p>【在籍学級でできる支援について】</p> <p>○教室環境の工夫について</p> <ul style="list-style-type: none">・座席の工夫 ・ユニバーサルデザイン ・視覚情報の工夫 ・理解支援（ふりがな等、話し方、わかりやすい日本語）・情意支援（ほめる、机間支援、親との連携） <p>○指導者向け翻訳ツールについて</p> <ul style="list-style-type: none">・多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」は、学校現場で使われる言葉も翻訳することができるので役に立つ。 |
| 相談後の方針の変化、今後の取組方針等 | <p>今回、美浦村日本語指導研修会のアドバイザーとして、市川先生には、授業参観から全体会講話まで、美浦村の日本語指導にかかわる多くの教職員、ボランティア等に向けて指導助言をいただいた。実施後のアンケートからも本研修会が有意義だったことがよくわかり、本研修会を開催できたことに大変満足している。</p> <p>【研修事後アンケートより】</p> <p>※研修会満足度 4.73 (5点満点)</p> <ul style="list-style-type: none">・日本語を第2か国語として学ぶ子供たちへのサポートの仕方や手立てがわかり、早く実践したいと思った。・授業で使用する「ことば」の吟味の重要性など、支援に当たって意識する視点がよくわかった。・JSL 支援の「記憶支援」に関しては、低学年の児童に対して非常に有効になると感じた。・日本語教育を展開する中で、環境の大切さと工夫、学習に当たってのアセスメントの大切さ、そして教材開発の重要性について理解することができた。・在籍学級の担任として、日本語指導の先生と連絡を密にし、共通理解の基、指導に当たりたいと強く思った。・外国籍児童生徒がどれだけ学校生活の中で苦勞し、頑張っているのかがよくわかった。 |

(様式3)

| |
|--|
| <p>美浦村として抱えていた日本語指導教室の環境整備や支援体制の構築について、今回具体的な指導助言をいただいたことにより、翌日から早速実践（教室環境の整備や児童生徒への支援等）に移すことができている。また、外国籍児童生徒数が今後大幅に増加する見通しに対し、美浦村全体としての「つながりのある支援体制」を構築する必要性を、関係者全員で共有できたことが非常に大きいと感じている。今後の取組としては、本研修会を美浦村日本語指導の第一歩として、今後も定期的に研修会を開催するとともに、幼保小中のつながりが強固となるよう、JSLカリキュラムをベースとした「美浦村日本語指導カリキュラム“MIHO STEP”」の作成に取り掛かる方針である。</p> |
|--|

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。